

「第1回 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会」の 開催結果について

成瀬ダムは雄物川水系成瀬川に建設中の多目的ダムで、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道及び発電を目的としています。

近年、ダムは治水・利水としての役割のほか、水源地域の活性化に資する新たな観光資源として期待されています。

水源地域の自立的・持続的な活性化を図るためには、水源地域及び流域の自治体や住民、関係機関等と広く連携していくことが重要です。さらに、活性化にあたっては水源地域や周辺地域が有している地域資源の魅力を最大限引き出し、その魅力と新たに創出されるダムの魅力を掛け合わせ、バランスのとれた流域の発展を図ることが必要です。

成瀬ダムでは、ダムを活用した水源地域活性化のための行動計画「水源地域ビジョン」策定を見据え、平成29年度から水源地域の東成瀬村や流域自治体、地元関係者、ダム事業者等が連携し、活性化に向けた検討や試行に取り組んできました。

ダム建設事業が令和6年11月にダム堤体の主構造であるCSG打設が完了し、令和9年度ダム完成に向けて活性化策の具体を考える時期となったことから、水源地域ビジョン策定に向けて、水源地域や流域の自治体・住民・関係団体、有識者、ダム事業者等からなる「成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会」を令和6年12月26日に設立しました。

今回の第1回策定委員会では、策定委員会の検討体制、今後の進め方、成瀬ダム“ダム活”キックオフミーティングについて検討し基本事項を決定しました。

要旨

1. 策定委員会の検討体制

- ・成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会の設置、委員構成、規約、傍聴規定について了解が得られた。
- ・策定委員会の検討体制として、委員会の下に、ビジョンの具体内容について検討する「幹事会」を設置し、幹事会のメンバーを決定した。
- ・幹事会は既存の会議体と連携しながら進めていく。

2. 今後の進め方

- ・成瀬ダムが完成する令和9年度中のビジョン策定を目指す。
- ・委員会は年1回程度、幹事会は内容に応じて適宜開催する。
- ・周辺エリアや雄物川流域等の連携も見据え、内容・体制について検討する。

3. 成瀬ダム“ダム活”キックオフミーティングについて

- ・令和7年1月26日に「成瀬ダム“ダム活”キックオフミーティング」を開催すること及び内容を決定した。

成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会 名簿

■策定委員会

	所属	役職	氏名	備考
学識経験者	秋田大学 教育文化学部 地域文化学科	教授	林 武司	◎委員長
観光	一般社団法人 秋田県観光連盟	専務理事	小玉 博文	
水利用	秋田県雄物川筋土地改良区	理事長	柿崎 幹夫	
地域活動	NDM（なるせダムミーティング）取組推進部会	代表	鈴木 実	
行政機関	秋田県雄勝地域振興局	局長	加賀谷 由博	
	横手市	市長	高橋 大	
	湯沢市	市長	佐藤 一夫	
	大仙市	市長	老松 博行	
	東成瀬村	村長	備前 博和	
	東成瀬村 教育委員会	教育長	大沼 一義	
	国土交通省成瀬ダム工事事務所	所長	安部 剛	

第1回 成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会

日時：令和6年12月26日（木）14:00～15:30

場所：東成瀬村防災情報センター3F会議室

議 事 次 第

司会：成瀬ダム工事事務所（技術）副所長

1. 開 会
2. 挨 拶 ：成瀬ダム工事事務所長 安部 剛
3. 委員紹介
4. 策定委員会の設置
 - ・ 設立趣旨
 - ・ 規 約
 - ・ 傍聴規定
 - ・ 委員長選任
5. 報 告
 - (1) 成瀬ダム事業概要
 - (2) 水源地域ビジョンの概要
 - (3) これまでの取り組み
6. 議 事
 - (1) 策定委員会の検討体制
 - (2) 今後の進め方
 - (3) 成瀬ダム“ダム活”キックオフミーティングについて
 - (4) その他
7. 閉会